OKAYAMA UNIV.

文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」

NEWSLETTER

No. 16

2016.3

岡山大学　ダイバーシティ推進本部　男女共同参画室

Index

平成27年度　女性研究者シーズ発信会 …… 1
次世代理系女子のための取組み …… 2
スキルアップ講座「英語論文セミナー」／
復職支援助成金　申請採択者からの声／
研究支援員事業　利用者からの声 …… 3
女性サポート相談室だより／お手軽簡単 Recipe ／
Information ／編集後記 …… 4

平成27年度　女性研究者シーズ発信会

（ウーマン・テニュア・トラック教員研究発表会）

開催日　平成27年12月18日（金）
場　所　創立50周年記念館

昨年までウーマン・テニュア・トラック教員研究発表会との名称で開催しておりましたが、学内外の研究者との共同研究へと繋がるよう願いを込めて「女性研究者シーズ発信会」と称し開催いたしました。また、今回初めて、コメンテーターとして学外から３名の方にもお越しいただき、今まで以上に活発な意見交換ができました。

発 表 者	研究発表タイトル
田村　生弥 大学院環境生命科学研究科（環）	汽水域における微量汚染物質の毒性影響評価
小布施 祈織 大学院環境生命科学研究科（環）	回転球面上２次元 Navier-Stokes 乱流における大規模構造の形成
根本　理子 大学院環境生命科学研究科（農）	エクソーム解析による先天性免疫不全症の原因遺伝子の同定
井上 麻夕里 大学院自然科学研究科（理）	化石サンゴを用いた5200年前の西太平洋熱帯域の気候変動復元
相澤　清香 大学院自然科学研究科（理）	下垂体隆起部の細胞生物学的研究
山本　ゆき 大学院環境生命科学研究科（農）	卵管運動をコントロールする局所因子とその産生制御
門田　有希 大学院環境生命科学研究科（農）	高速シーケンサを利用した農作物の遺伝解析
宮崎　祐子 大学院環境生命科学研究科（農）	森林に生育する樹木の繁殖の豊凶を決める要因は何か？：花成制御遺伝子発現量から探る生理メカニズム

■ 参加者の声

・異なる分野の研究が興味深く、若い女性研究者の皆さんのエネルギッシュで先端的な研究に感銘を受けました。
・多様な研究内容を一度に聞ける機会は貴重だと思います。
・質疑を含めて活況な印象でした。もう少し発表内容を詳しく聞きたかった。

次世代理系女子のための取組み

男女共同参画室では、将来を担う高校生・中学生に最先端の科学の研究内容に触れ、自然科学に対する興味を持っていただくことを目的として、平成22年度より出前授業や実験教室などを実施しています。

1 ～リケジョへの誘い～岡大方式サイエンス・トライアル

工学実験教室　ロビくんとパンケーキデコレーションに挑戦！

平成27年11月21日（土）13：00～16：00
担当：五福　明夫　教授（大学院自然科学研究科）
　　柴田　光宣　技術職員（工学部創造工学センター）

お料理ロボット「ロビくん」と一緒にパンケーキをデコレーションしました。ロボット操作を参加者全員が体験し、最先端のシステム技術に触れることができました。

2 ～リケジョへの誘い～岡大方式サイエンス・トライアル

農学実験教室　作物の多様性 ― DNA で探る変わり者たち

平成27年11月28日（土）10：00～15：00
担当　加藤　鎌司　教授（大学院環境生命科学研究科）
　　田中　義行　助教（大学院環境生命科学研究科）
　　門田　有希　助教（大学院環境生命科学研究科）

女子中学生・高校生を対象に、農学実験教室『作物の多様性－ DNA で探る変わり者たち－』を開催しました。辛くないトウガラシ、酸味のあるメロンなど、様々な作物の DNA 実験を通して、作物の多様性について学びました。

3 サイエンス・トーク

平成27年７月～10月に、本学若手研究者による出前授業「サイエンス・トーク」を、岡山大学教育学部附属中学校、作陽高等学校、高松農業高等学校、倉敷中央高等学校で実施しました。

感想

・将来研究職に就きたいと考えているので、研究の一端に触れることができ、参考になった。
・女性研究者の方々は、充実感に溢れていてとても魅力的だった。もっと深く学んでいきたい。

4 オープンキャンパス「理系の魅力　女子高校生の皆さんへ」

平成27年８月７日～８日　オープンキャンパスでは、女子高校生を対象に、理系進学への疑問・質問を気軽に相談できるブースを出展。94名が参加し、理系女子大学院生・学部生が、「農学部と理学部の違い」「理系学部進学後の進路」などの質問に回答しました。

Report 1

[スキルアップ講座「英語論文セミナー」]

開催日　平成28年２月22日（月）・23日（火）

講　師　エダンズシニアエディター
Dr. Trevor Lane 、Dr. Ruth Tunn

既に英語論文執筆および投稿経験のある研究者を対象にしたセミナーを開催しました。生命科学系、医学系、工学系、社会科学系の４分野に分け、各分野に沿ったアクティビティを実施、約70名の方が参加されました。

感想

・英語論文の校正方法や流れのある文章の組み立てなどの講義があり分かりやすかった。

・論文が accept で終わりでなく、その後さらに impact を上げる為の行動や press release の文章構成方法まで教わる機会がないので、良い機会となった。

Report 2

[復職支援助成金　申請採択者からの声]

出産・育児・介護等のライフイベントによる研究中断から復帰する研究者（男性研究者を含む）を対象として、リスタートのための研究費を助成しています。初回の募集では、８名の方が採択されました。

利用者　河田　かずみ　助教（大学院医歯学総合研究科　口腔生化学分野）

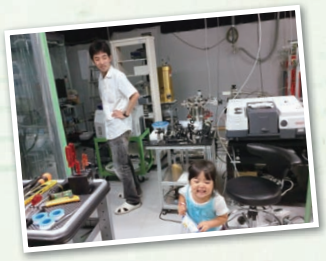
育児休業前は、歯牙組織構成細胞の一つ、象牙芽細胞における「一次繊毛」の機能解明を行っていました。「一次繊毛」は、細胞外環境感知センサーとして働く細胞「外」小器官ですが、未だ不明なことも多く、復帰後も、この研究を継続したいと考えていました。しかし、その研究費がなかったため、復職支援助成金に応募しました。現在は、象牙芽細胞が規則的に配列する機構に一次繊毛が関与している可能性を考え、研究を続けています。

Report 3

[研究支援員事業　利用者からの声]

出産・育児・介護等により研究時間の確保が困難になった研究者に、研究支援員を配置しています。これまでに述べ70名の方にご利用いただいています。

利用者　増田　孝彦　助教（極限量子研究コア）



私は４歳の娘と２人暮らし（妻が単身赴任）しており、なにかと慌ただしい生活をしていました。そんな中で本事業のことを知り、早速応募させていただきました。普段日中は実験をしているのですが、支援員の方にこまごまとした実験準備をお願いすることで、その時間を計算や文献チェックなどのデスクワークにあてることができ、大変助かりました。日中に落ち着いた時間が確保できるというのは、研究はもちろんのこと、その安心感が育児にも良い影響をもたらしてくれ、子供のストレスも緩和できたのではないかと考えています。研究と育児の両立には色々大変な面もありますが、今回の支援を忘れず今後も取り組んでいきたいと思います。

女性サポート 相談室だより

第24回 キャリアカフェ

開催日時 平成28年２月20日（土）14：00～16：00

今回のゲストスピーカーには、本学で博士（農学）を取得後、出産育児を経てロート製薬株式会社に入社され、研究開発本部研究員として活躍されておられる宇野栄子さんをお招きしました。現在、パートナーも同じ研究者ですが、早く帰宅したほうが夕食を作るというルールを作り、家事も育児も夫婦でシェアしているというお話でした。現在二人目を妊娠中で、後輩たちにはその時々での出会いとチャンスを大事にしてほしいとエールを送られました。

相談はこちらへ

- メールアドレス：support-w@adm.okayama-u.ac.jp
- 電話番号（代表）：086-251-7011

お手軽 簡単 Recipe

第５回 簡単 チョコケーキ

［材料］ 板チョコ　２枚（ビター、ミルク等お好みで）
卵　２個　（卵白と卵黄を分ける）

① チョコを湯せんで溶かし、冷めたら、卵黄を混ぜる
② ハンドミキサーで卵白をしっかり泡立てる
③ ①の中に、②の卵白の１／３を入れ、泡立て器でしっかり混ぜる
④ 残りの卵白を２回に分けて、空気を入れるように、ヘラでさっくり混ぜる
⑤ 型に入れ、170℃のオーブンで17分焼く
⑥ あら熱が取れたら、冷蔵庫で冷やせば、出来上がり !!

一晩、冷やせば、しっとりしますよ♡

Point 1
卵白の１／３はしっかり混ぜる

Point 2
残りの２／３は２回に分けてさっくりと！

Information

HP リニューアルのお知らせ

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業における広報活動の一環として、ダイバーシティ推進本部のHPを３月15日よりリニューアルしました。本学が取り組む、女性研究者支援に関する情報をカテゴリ別に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

URL：http://okayama-u-diversity.jp
もしくは「岡山大学　ダイバーシティ推進本部」で検索

編集後記

去る３月４日、文部科学省科学技術人材育成費補助金ダイバーシティ環境イニシアティブ事業の採択を受けた「キックオフシンポジウム 次世代・コア世代女性研究者が花開く支援をめざして」が本学50周年記念館で開催されました。詳細は次号に掲載させていただきますが、管理職の方々からもダイバーシティ環境実現に対して前向きの発言を聞くことができ、私たち男女共同参画室がめざす方向に明るい光が見えたような気がしています。

本号でご紹介しています次世代理系女子のための取り組みは、出前授業「サイエンス・トーク」が平成22年に始まり、順次オープンキャンパス「理系の魅力　女子高生の皆さんへ」、リケジョへの誘い「岡大方式サイエンス・トライアル」が開催され現在に至っています。昨今の景気回復基調に伴って理系への進学希望者が減っているとの報道がありますが、次世代が育たないことにはダイバーシティ文化の達成は困難です。これらの取り組みは、いわゆる草の根の活動で、効果がすぐに目に見えることはありませんが、多くの方々の協力、援助がないと実施は困難です。今後もぜひ皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

お問い合せ

国立大学法人　岡山大学
ダイバーシティ推進本部　男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL：086-251-7011　FAX：086-251-7033
Email:sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo